

CULIB NEWS

「CULIB NEWS が変わります」

中京大学図書館長 中山 蕙子

昨年11月、先端共同研究機構のプロジェクトの一環として、本学と学術交流協定を締結しているイタリアのヴェネチア大学を訪れました。ヴェネチア大学は、8学部を有する国立大学で、その学生数は約19,000人です。特に、日本語教育はイタリア一と評されており、協定締結以来、本学でもヴェネチア大学からの留学生を受け入れています。大学本部はゴシック様式の歴史的建造物を利用していますが、図書館は元 ENEL（イタリア電力）の建物というだけあり、ヴェネチアの中では珍しく近代的概観です。

ヴェネチアには多数の図書館がありますが、中でも圧巻は、国立マルチャーナ図書館です。図書館は、かのナポレオンがヨーロッパで最も美しい広場と称賛したというサンマルコ広場に面し、ドゥカーレ宮殿の向かい側に位置しています。装飾を施した窓が無数に並び、宮殿のようなたたずまいです。

総合大学の図書館、世界遺産の街並みの一角を占める図書館という新旧の両極にある図書館を目にし、改めて中京大学の図書館の在り方を考えさせられました。

余談ですが、ヴェネチアにはアクア・アルタと呼ばれる高潮による浸水被害が毎年、発生します。私どもが滞在したのは、ヴェネチアが半世紀ぶりに187cmの高潮に見舞われ、市内の8割以上が浸水し、政府が非常事態を宣言、被害も数億ユーロに上るという時期でした。観光客は見当たらず、大学に行く途中にも潮が押し寄せて立ち往生、膝までの長靴を借りて漸く大学に辿り着きました。アクア・アルタは、満潮と南風、さらに低気圧が重なって起こるそうです。しかし、ヴェネチアの洪水が近年、深刻化している原因は、地球温暖化による海面水位の上昇と地下水の過度の汲み上げやプレートの沈み込

みによる地盤沈下といわれています。CNN などによれば、気候変動対策を盛り込んだ来年度予算の改正案を与党連合が否決した直後に、大運河に面した州議会議事堂が浸水したと報じました。水の都が水没の危機に瀕している状況をまざまざと見せつけられ、世界規模での環境対策への取り組みの必要性を痛感しました。

最後に、今回のタイトルについてです。CULIB NEWS は毎年、数回にわたり、図書館が10ページ余りの小冊子の形で発行し、皆さんに配布してきました。しかし、何処の大学、図書館にも経費削減の波は押し寄せ、同時に web の飛躍的普及により、冊子という媒体が必ずしも求められなくなってきています。読み終わられた冊子の行く末まで思いを馳せれば、環境問題にも触れねばなりません。そこで、図書委員会では次回より、冊子としての CULIB NEWS の廃止を決定しました。ただ、紙媒体をすべてなくすのではなく、CULIB NEWS は表裏印刷の1ページへと変貌を遂げます。いわば簡易版を年に数回発行するという形になります。もちろん、大学のホームページからも閲覧可能とします。従来、CULIB NEWS は図書館主体で記事を提供してきましたが、今後は学生の皆さん主体で進めていただければと考えています。具体的には、図書館開館予定表、図書館イベントニュースは図書館側で手掛け、それ以外の部分は学生の皆さんの裁量にお任せするつもりです。できれば、より多くの学生の皆さんに協力していただき、少しでも身近な図書館への一歩が踏み出せればという思いです。どうか、新たな CULIB NEWS にご協力くださいますよう、図書館長としてお願い申し上げます。

学生が主役の図書館

キーワードは「能動的学習」と「学生協働」

本学は名古屋キャンパスに「名古屋図書館」「ライブラリーサービスセンター」(LSC)、「法学文献センター」(LLC)、豊田キャンパスに「豊田図書館」と4つの図書館がある。蔵書冊数は4館合わせて100万冊以上(雑誌を含む)にのぼる。

大学の図書館といえば従来、静粛な環境で静かに勉強したり読書をしたりする場所、というイメージが強かった。その機能は今でも維持しているが、もう1つの機能として本学が力を入れているのが、「能動的学習」の場としての図書館づくりだ。

高校までの「受動的な学習」ではなく、大学では自ら課題を発見し解決するための「能動的学習」が求められる。その能動的学習を積極的に支援しようと、名古屋図書館と豊田図書館には「ラーニング・スクエア」というガラス張りの空間が設けられている。自由に配置替えできる机やイス、ホワイトボードが用意され、無線LAN(Wi-Fi)やパソコン、プロジェクターなどのネット環境も整備されている。ゼミナールで出された課題について共同で取り組んだりプレゼンテーションの予行演習をしたりと、活用の幅は広い。



▲名古屋図書館で開かれた「図書館広報隊 企画展示」

図書館が力を入れるもう一つの機能は、「学生協働」の働きだ。学期ごとに図書館広報隊を募り、図書館スタッフの一員としての役割を担ってもらう。これまでに、学生目線で図書館を紹介する「広報隊ニュースレター」の発行、「雨の日に読みたい本」など一つのテーマにちなんだ本を集めた企画展示、司書課程の学生たちが行った「ビブリオバトル(知的書評合戦)」も司会は広報隊員が務めた=次ページ参照=。今後も広報隊員の意見に耳を傾けながら、多彩な活動を繰り広げる予定だ。奮って参加してほしい。



ビブリオバトル(知的書評合戦) で本の魅力アピール

「図書館と司書課程の共同企画ビブリオバトル」が11月4日、名古屋図書館のラーニング・スクエアで行われた。ビブリオバトルとは、発表者（バトラー）たちが、それぞれお気に入りの本の魅力を5分で語り、最後に聴衆が最も読みたくなった本を投票で選ぶ、というイベント。図書委員の中川豊先生（文学部）が担当する司書課程の受講生と図書館広報隊員の学生がタイアップする形で、初めて実施した。

広報隊員の法学部3年森山茜さんの司会でスタート。1番手は中川先生が阿川佐和子著『強父論』、次いで経営学部2年中島瑞穂さんが有川浩著『図書館革命』、文学部4年古橋充行さんが遠藤浅蜷著『魔法少女育成計画』、心理学部3年山本歩奈さんが中山七里著『さよならドビュッシー』、心理学部3年福西加純さんが五條瑛著『ROMES 06』と、それぞれ手ぶり身振りを交えて、本の内容を紹介した。

「原作と、映画やドラマ・アニメとの違いは？」「一番好きなシーンは？」——バトラーは聴衆の学生や傍聴した図書委員の明木茂夫先生（国際教養学部）からの質問にも丁寧に答えた。31人の聴講者が投票した結果、チャンプ本には山本さんが紹介した『さよならドビュッシー』が選ばれた。山本さんは「途中で原稿の内容が頭からとんだりしましたが、発表できてよかった」と話していた。



▲熱弁をふるって本を紹介するバトラー（名古屋図書館ラーニング・スクエア）

司会の森山さんの感想

ジャンルがバラバラで、聞いていて面白かったです。皆さんが楽しそうに発表をされていて、『その本のこと本当に好きなんだなあ』と伝わってきました。

EVENT
REPORT

多彩なラーニングイベント

大学院生のアドバイザーから学部生へ 知識を伝達

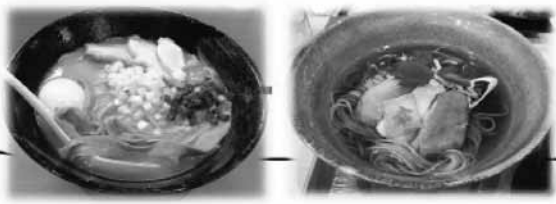
名古屋・豊田の両図書館では、本学の大学院生から「ラーニングアドバイザー」を募って、ラーニングスクエアに配置（一斉休暇期間を除く）、アドバイザーが発表者となって、自分の得意分野の知識を伝える「アクティブ・ラーニングイベント」を開いている。ユニークなイベント企画をいくつか紹介しよう。

★「ラーメン講座」（豊田図書館）

ラーメンが好きで、全国各地のラーメンの情報通を自認する体育学研究科の修士課程1年早川太啓（ひろあき）さんが、「ラーメンって素晴らしい」と題して、お勧めのラーメン店を紹介した。柔道部のコーチも務める早川さん。ラーメン好きになったのは5年前、遠征試合の際に東京都葛飾区にある、とあるラーメン店に入ったのがきっかけ。「スープの味が衝撃的だった。口の中に入った瞬間に、濃厚さと油のうまみが同時に来て、麺もおいしかった」。以来、訪れた店舗は100店以上。タイに行った時も、3店舗のラーメンを食べ歩いた。「スープの味を決めるのは、出汁とタレと香味油」と早川さん。お勧めの店のラーメンの特徴をパワーポイントで紹介された参加者らは「実際にいろんなラーメン店に行って食べてみたい欲求にかられました」と話していた。



ラーメンのスープ

出汁 + 

白湯 (パイタン) 出汁
 豚骨や鶏骨などの素材を使って、強火で沸騰させながら骨が粉々になるまで煮込む。

清湯 (チンタン) 出汁
 煮立ち過ぎないように弱火で、素材の味が自然に出るように煮詰める。

代表的な素材

豚骨 鶏ガラ 節類 (和風) 香味野菜

★「昆虫食講座」(名古屋図書館)

アブの芋虫やバッタ、蜂の子などを食材とした「昆虫食」について、心理学研究科の博士課程1年長谷川洋輔さんがプレゼンした。長谷川さんは「健康食」、「エコ食」「未来食」という3つの側面から昆虫食のメリットを強調。「高タンパクで低脂肪。牛や豚などの肉食は広大な放牧地や飼料用作物の農地が必要で、温室効果ガスが多く発生しますが、昆虫のエサは人間の残飯や畜産のフンのためエネルギーを使いません。食糧問題の解決にもつながります」。見た目は悪いが、粉末にしたり、茹でたり揚げたり、姿が見えないように料理する方法もあるという。講義を聞いた学生たちは「昆虫食に対し、ポジティブなイメージを持つことができました」「昆虫食を今すぐ食べたくくなりました」と感想を話していた。

昆虫食



- 。 タンパク質の確保
- 。 救荒食糧



- 。 食糧資源問題の解決
- 。 グルメ道楽の新領域



★「敬語で読む古典講座」(名古屋図書館)

「敬語が分かったら、古典が面白くなりますよ」と語るのは、文学研究科の修士課程1年頼則(よりのり) 若奈さん。

テキストに使ったのは、『源氏物語』桐壺の巻で、桐壺更衣の母と命婦(帝の使い)が会話をしている部分。桐壺更衣の死後、悲しみに暮れる帝が、桐壺の唯一の肉親である母親への手紙を命婦に遣わした場面だ。

母君「寿(いのち)さのいとつらう思ひたまへ知らるるに、(中略)……若君(光源氏)は、いかに思ほし知るにか……」

「思ほし」は「思う」の尊敬語で、お思いになる、の意味だ。光源氏は帝と桐壺更衣との間にできた息子で、母君は光源氏にとって祖母にあたるが、孫に対して祖母が尊敬語を使う理由は何だろうか。頼則さんは「光源氏は、もしかしたら将来、帝の地位につくかもしれないので、身分が高い。祖母と孫という関係でも、孫のほうが高い身分なので、敬意を表さなければならない」と解説した。受講生らは「専門的分野の内容を、分かりやすく知ることができた」「こうした機会はとても重要だと思う」と語っていた。



ラーニングアドバイザー講座としてはこのほか、名古屋図書館で「効果は遅いが確実にダイエットできる方法」「フェチズムで読む近代文学」、豊田図書館では「SPI 講座」「健康栄養講座」「目標達成講座」「教職採用試験講座」を開いた。

講座の中身は毎年変わるが、学生に親しみやすい図書館を目指していく。

EVENT
REPORT

選書ツアー

学生が図書館に入れる本を選ぶ

学生の皆さんが書店に出向いて、店頭にある本の中から図書館の蔵書を選ぶ「学生選書ツアー」が11月2日に行われた。学生の目線で専門分野の知識や教養が深まる図書を選んでもらい、図書館の業務の一端を担ってもらうのが目的。今回は10人の学生が参加し、名古屋市中区の書店で、2時間という限られた時間の中で、1人あたり約2万円分の本（購入費用は図書館予算）を選んだ。選書ツアーは原則、春学期と秋学期に1回ずつ開いている。実施日が決まった段階で、アルボなどで募集要項を告知する。お見逃しなく！



参加者の声

『どのような本が図書館にふさわしいだろうか』と考えつつ、自分の専門の分野、専門外の分野の両方で選書することが、普段の自分の学習態度を省みるきっかけとなりました。
(心理学部1年女子)

自分では購入できない高価な書籍を何冊も図書館に購入していただけて、学習意欲と研究に大きな原動力となりました。違うキャンパスの学生とも交流できる貴重な時間でもありました。

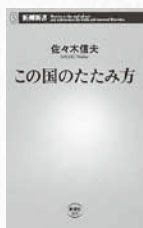
(現代社会学部1年男子)

今までレポートを書くときに必要な資料を探しに遠くの市立図書館まで行くことも少なくなかったので、必要な情報の載った理系向けの本を図書館に所蔵していただけることも、とてもうれしいです。

(工学部1年女子)

自己啓発本をメインに選びました。これを読み、自分自身の考えを改めたり、参考にしたりして生きていきたいと思います。春から社会人なので、人として立派な人間になれるように頑張ります。

(スポーツ科学部4年男子)



『この国のたたみ方』

佐々木 信夫

新潮新書

とても刺激的なタイトルであるが、今後の急激な人口減少を見据えて、果敢にこの国のあり方を構想する書である。筆者は、都庁の行政マンから大学教授となり、長年にわたり日本の行政・地方自治について分析と提言を行ってきた。「米カリフォルニア州1州の面積しかない日本に、ヘリポートを除いても97もの空港ができています」など、具体的な数値や事例を挙げながらの平易な説明も大きな特色といえる。また、道州制論を積極的に展開する「改革派の識者」ではあるが、「北海道州」や「九州州」というように従来の道州制論とは一線を画すユニークな議論が随所で展開される。「東京を減反しよう」や、東海州は「第2の副首都にも」のように、地方目線から分散型の国土へと再構築しようとする哲学が、その根底にあるのではないか。

総合政策学部 教授 桑原 英明



『観察の練習』

菅 俊一

NUMABOOKS

「観察とは、日常にある違和感に、気づくこと」毎日通り過ぎる平坦な道。今日は立ち止まって周囲を眺めてみる。建物から流れ出た水跡に気づく。水跡の形を観察する。すると道の凸凹が見えてくる。この道は平坦ではなかったのだ。

私が認識する世界は、目や耳に届くわずかな信号と、心の中の思い込みでできています。思い込みは必ずしも悪者ではなく、思い込みのおかげで上手く行動できるし、世界は彩り豊かなものになる。しかしたまには思い込みから解き放たれてみるのもよい。そこには新しい発見があり、世界は新たな彩りで飾られる。

とはいえ思い込みの呪縛は根深く「観察」は簡単ではない。本書はこのような観察の事例を写真とともに解説する教本である。「観察の練習」は、私達の人生を少しばかり豊かなものにしてくれるはずである。

心理学部 准教授 高橋 康介

書籍紹介

先生編



『反転する福祉国家
—オランダモデルの光と影』

水島 治郎

岩波現代文庫

オランダは、西欧の小国ながらも EU 創設メンバー、また移民に寛容な、高福祉の国として知られていました。1980年代以降、新たな福祉改革に取り組み、ワークシェアリングや非正規労働の正規化、ワーク・ライフ・バランスの追求を通じて、女性や高齢者、障害者の社会への「包摂」を実現しましたが、なぜか同時に移民や外国人の「排除」も進みました。著者は、推理小説さながらの展開で、この逆説を解き明かしてくれます。異色の大衆政治家やショッキングな事件に彩られたこの物語（もちろんノンフィクション）が興味深いのは、イスラム過激派によるテロと反移民感情の高まり、排外主義を掲げる右派ポピュリズム政党の台頭など、その後イギリスやフランスで起きた事態を先取りしているからです。本書は現代ヨーロッパ社会論の最良のテキストの一つです。

経済学部 教授 椿 建也



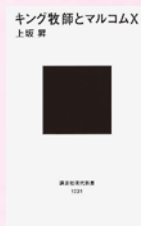
『さし絵で楽しむ
江戸のくらし』

深谷 大

平凡社新書

いきなり「トザイ、トーザイ！」で始まる楽しい本である。本学非常勤講師でもある著者はまるで講師のように、江戸時代の様々な書物の挿絵を通して当時の庶民の暮らしを生き活きと語ってくれる。面白いのは、引用されるたくさんの挿絵の中の、中心人物だけに焦点が置かれるとは限らないことだ。人物の足下に描かれたちょっとした物、人物の装飾品や持ち物など、あちこちからいろいろな情報が引き出される。江戸時代は今とは全く異なっていたんだとか、なんだ江戸時代の人も案外我々と同じだったんだとか、その両方が満載である。特に「甚句」など民謡歌謡の段は著者のご専門だけあってまさに真骨頂。その解説には例として現代の TRF や EXILE や AKB や乃木坂まで登場する。どんな場面で登場するかはぜひ本書をご覧ください。

国際教養学部 教授 明木 茂夫



『キング牧師とマルコムX』

上坂 昇

講談社現代新書

キング牧師とマルコムXはアメリカ黒人運動指導者として知られていました。二人は黒人の人種平等を実現するために闘争の一生を送り、今日の黒人生活は彼らの努力によって根本的に変わった。肌の色や出身などに関係なく個人の勤勉、努力によるアメリカン・ドリームを実現する日を迎えたのである。黒人運動指導者だと言っても二人の思想は大きく違う。キング牧師はマハトマ・ガンディーの影響を受け、非暴力思想を武器に黒人の自由を実現するのに対し、マルコムXは反白人思想や暴力肯定論に傾倒した。なぜこのような違いが生じたのか。著者は、キング牧師とマルコムXの思想軌跡を振り返って二人の共通点と相違点を家庭環境、宗教、政治的イデオロギーを取り上げてわかりやすく解説している。本書は黒人問題や公民権運動の意味を理解するための最良の一冊です。

経済学部 4年 ジューソウ



『amazon 世界最先端の戦略がわかる』

成毛 眞

ダイヤモンド社

この本は世界的IT企業として知られるアマゾンの、「常に挑戦を続け、顧客を第一に考え、なるべく早く商品を提供する」という、創業から現在に至るまで続く理念とその実態を知ることができる本です。同社が実際の商品以外にも「情報そのもの」を取り扱うのはなぜか、それによってどのような恩恵が生まれるか、それらのことを通じてその成長要因の一端を知ることができます。その一方、同社が顧客重視を貫いているのは確かだとしても、その背景に配送業者への過度な負担が潜んでいるのも事実です。本書はそうした問題にも多くページを割いています。

重要なポイントは太字で書かれており、図解も多いためとても読みやすく、物流というものの仕組みも理解できるようになっています。IT企業に興味がある方は、ぜひ一度読んでみて下さい。

国際教養学部 2年 伊藤 凌太郎

書籍紹介 学生編



『海と毒薬』

遠藤 周作

講談社文庫

生きたままの人間を解剖する。戦争末期にとある病院で実際に起きた米軍捕虜に対する残虐行為に参加したのは、医学部の小心な青年だった。実験の最も良心の呵責に苦しむ彼だが、止める事は出来ない。本作では戦争が生み出す残虐性の中に、神を持たない日本人の良心の抛り所とは何かを問いかけてくる。

診察と称して連れられた捕虜はエーテルを嗅がされ診察台に縛りつけられる。執刀医は術中死の責任がないため、おざなりの作業を施した。本来銃殺されるものが医学の進歩のために使われるならましじゃないか、と正当化する人々は感覚が麻痺していることに気づかない。

特に、苦しむ被験体に対して「こいつは患者じゃない」と鎮痛剤の投薬を制する場面は非常に痛ましい。

絶対の行動規範がなく、場の雰囲気流されがちな日本人にとって、示唆に富む内容である。難しい本ではないので是非一読してもらいたい。

心理学部 3年 横幕 加奈



『AIの衝撃 人工知能は人類の敵か』

小林 雅一

講談社

昨年、とある回転寿司に行った際、受付や席の案内をあの「ベッパー君」が行っていることに衝撃を受けた。近年、AI（人工知能）の技術進歩は目を見張るものがある。かつてのロボットは、人間が設計し、人間の指示でその任務を全うすることが求められていた。しかし、AI技術の進歩により、ロボットは「自ら進化できる」存在へと変貌を遂げた。その進化は指数関数的とも言われ、2045年にはAIが人間の知能レベルを超えるという説も提唱されている。つまり、AIは人間を脅かす存在であるということだ。

では、人間より知能が上回る存在が現れた時、人間に残るものとは何か。人間は知能によって他の動物から優位性を保っていた。人間の最後の砦と思われていた知能が崩れる時、人間はどこにその存在意義を見出すのだろうか。AI技術の進歩は、「人間とは何か」という根本的な問いをもう一度私達に投げかける。

総合政策学部 4年 小林 恵人

POINT!

文章講座の現場から 「伝える文章」書き方のコツは？

本学では2015年度から教育支援事業の一環として、マスコミを志望する学生を対象に「文章講座」を開き、学生が書いた文章を参加者同士で批評し合ったり、図書館職員が添削をしたりして文章力の向上を目指してきました。作文や小論文を書くポイントは「中京大学図書館学紀要第38号 2017」に掲載しましたが、今回は紀要では紹介できなかった「伝える文章」（伝達文）の書き方のコツを取り上げます。

コツ① 「5W1H」の要素を入れる

「伝える文章」の基本は、「事実が正確に書かれているかどうか」です。事実を伝える必須要素は、いつ（When）、どこで（Where）、だれが（Who）、なぜ（Why）、何をした（What）、どのように（How）の6つ。この「5W1H」の要素を入れることが、「伝える文章」を書く第一のコツです。お手本は新聞の記事です。以下の囲みの文章は2019年のノーベル化学賞に輝いた吉野彰氏の受賞を報じた新聞の1面記事です。分析してみましょう。

スウェーデン王立科学アカデミーは9日、2019年のノーベル化学賞を、リチウムイオン電池を開発した旭化成の吉野彰・名誉フェロー（71）ら3人に授与すると発表した。リチウムイオン電池は軽量かつ高出力で、充電して繰り返し使える。スマートフォンやノートパソコン、電気自動車などに広く使われている。化石燃料に頼らない社会の実現に向けた貢献が評価された。

授賞理由は「リチウムイオン電池の開発」。同時に受賞するのは米テキサス大オースティン校のジョン・グッドイナフ教授（97）、米ニューヨーク州立大ビンガムトン校のスタンリー・ウィッティンガム卓越教授（77）の2氏。グッドイナフ氏は1901年に授与が始まったノーベル賞史上、最高齢での受賞となる。

授賞発表後、東京都千代田区の旭化成本社で記者会見した吉野氏は、「化学は分野が広いので、順番がなかなか回ってこないと思っていました。家族に伝えたら、腰を抜かすほど驚いていました」と笑顔で語った。

吉野氏は旭化成の研究者だった1981年、携帯用の家電などに搭載する小型充電電池の開発に着手した。グッドイナフ氏がコバルト酸リチウムのプラス極を発案していたリチウムイオン電池に着目、マイナス極に特殊な炭素材料を使うことを考案した。85年に、繰り返し充電できるリチウムイオン電池の原型を完成させた。ウィッティンガム氏はそれに先立つ70年代、金属リチウムを使った電池を開発した。

調査会社の富士経済によると、リチウムイオン電池の世界の市場規模は約4兆7855億円（2019年予測）に上る。近年は電気自動車の電源の需要が増えており、省エネや大

気汚染対策の分野でも応用が広がっている。さらなる小型化や大容量化をめざし、世界中で改善が進められている。

日本のノーベル賞受賞は、2018年に生理学・医学賞を受賞した本庶佑（ほんじょ・たすく）・京都大特別教授に続いて、米国籍の2人を含めて27人目。

記事の冒頭部分に注目してください。「いつ」は2019年11月9日、「どこで」はスウェーデン王立科学アカデミーの発表で、「誰が」は旭化成の吉野彰・名誉フェローら3人が、「何を」はノーベル化学賞を、「どうした」は授与されることになった、「なぜ」はリチウムイオン電池の開発が評価されたため、「どのように」は、軽量かつ高出力、充電して繰り返し使え、スマートフォンやノートパソコン、電気自動車などに広く使われる、が相当します。「5W1H」の要素が第1段落にすべて詰まっています。

コツ② 重要なことから順番に書く

原稿の3段落目以降に書かれている「吉野氏の受賞の感想」「リチウムイオン電池の世界の市場規模は約4兆7855億円」「日本のノーベル賞受賞者は27人目」といった要素は、第1段落の「5W1H」に比べれば、重要度は低いと言えます。紙面のスペースが狭く、長い文章が入れられない場合は、カットせざるを得ません。伝える文章を書く2番目のコツは、「重要なことから順番に書く」です。

コツ③ 短い文章で書く

言いたいことをできるだけ分かりやすく伝えるためには、短い文章（センテンス）で書くことです。「伝える文章」は詩や小説など文学作品ではありません。小説ならば長い文体がその小説のリズムであり、小説家の世界を表すのにふさわしい、ということもあるでしょう。しかし、「伝える文章」は事実を読者に正確に伝えることが目的ですから、主語と述語、修飾語と被修飾語を近づけ、一つの文章を短く、簡潔に書くことです。難しい言葉や言い回しを使ったり、持って回ったような言い方をしたりしないようにしましょう。

コツ④ 推測の言葉は使わない

「思う」「らしい」といった言葉は使わず、事実として分かったことだけを書くようにします。作文であれば「彼の行動から判断すると、こう考えているらしい」などと推測の文章を入れても構いませんが、「伝える文章」ではあいまいな文章は削ります。

以上、「伝える文章」を書くうえでの基本的なコツに触れました。皆さんの中には将来、記者職だけでなく、企業や役所などで広報誌の編集に携わることになる人もいるでしょう。ニュース原稿を書く際の参考にしてください。

2020年度 図書館カレンダー

図書館の一年間の開館予定がご覧になれます。

各館ごとの臨時休館、開館時間の変更等は、図書館ホームページの【ニュース】でご案内いたします。

◎通常の開館時間

	名古屋図書館 (NL)	ライブラリーサービスセンター (LSC)	法学文献センター (LLC)	豊田図書館 (TL)
平日	9:00～22:00 <small>(中京大学の教職員証・学生証をお持ちでない方は下記時間内に入館して下さい 平日9:00～19:00、土曜日9:00～15:00)</small>	9:00～20:00	9:00～19:00	9:00～20:30
土曜日		9:00～12:30	9:00～12:30	9:00～17:30

◎日付の色について

無印は通常開館日（開講期）

○は休講期（全館 平日9:00～17:00、土曜日9:00～12:30）

■は休日 ※7/11 NL、7/12 NL、7/19 TL はオープンキャンパス開催に伴い公開（9:00～16:00）しますが、通常の図書館業務は行いません。

●は定期試験月の休日開館日（10:00～17:00）LSCのみ

名古屋図書館 (NL)							ライブラリーサービスセンター (LSC)							法学文献センター (LLC)							豊田図書館 (TL)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	④				①	②	③	④				①	②	③	④				①	②	③	④
5	⑥	7	8	9	10	⑪	5	⑥	7	8	9	10	⑪	5	⑥	7	8	9	10	⑪	5	⑥	7	8	9	10	⑪
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30			26	27	28	29	30			26	27	28	29	30			26	27	28	29	30		
					1	2						1	2						1	2						1	2
3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30
31							31							31							31						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30					28	29	30					28	29	30					28	29	30				
			1	2	3	4				1	2	3	4				1	2	3	4				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	⑪	⑫	13	14	15	16	17	18	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	⑫	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	⑬	20	21	22	⑭	⑮	25	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		⑯	27	28	29	30	31		26	27	28	29	30	31		26	27	28	29	30	31	
						①						①						①							①		
2	③	④	⑤	⑥	⑦	8	2	③	④	⑤	⑥	⑦	8	2	③	④	⑤	⑥	⑦	8	2	③	④	⑤	⑥	⑦	8
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
23	24	⑮	⑯	⑰	⑱	29	23	24	⑮	⑯	⑰	⑱	29	23	24	⑮	⑯	⑰	⑱	29	23	24	⑮	⑯	⑰	⑱	29
30	⑳						30	⑳						30	⑳						30	⑳					
		①	②	③	④	⑤			①	②	③	④	⑤			①	②	③	④	⑤			①	②	③	④	⑤
6	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	6	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	6	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	6	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
13	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	13	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	13	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	13	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30				27	28	29	30				27	28	29	30				27	28	29	30			

発行 中京大学図書館

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL(052)835-7235 <https://www.chukyo-u.ac.jp/extension/library/> 印刷 株式会社一誠社